

①「ロクアイタンポポ(仮称)」を、いつ、どこで、だれが見つけたのでしょうか。わかるところに線を引きましょう。

②このタンポポの花の大きさは、およそ何センチですか？また、葉の大きさは、一般的なタンポポと比べると、どのような特徴がありますか？

花の大きさは、

センチ。

葉の大きさは、一般的なタンポポの

③このタンポポは、何と何の雑種である可能性が高いのですか？

④記事を読んだ感想を書きましょう。

2004年に神戸市内で見つかった新種の可能性がある「ロクアイタンポポ(仮称)」が兵庫県内各地や県外でも生息していることが、県立人と自然の博物館・鈴木武研究員らがまとめた調査で分かった。姫路市や香美町、滋賀や岡山県などからも発見報告があり、鈴木研究員は「国内に広く分布しているとみられる」と指摘する。(村上晃宏)

## 神戸で発見 新種の可能性

# ロクアイタンポポ 広域に

直径5センチほどの大きな黄色い花をつけ、葉の大きさも一般的なタンポポの倍近いロクアイタンポポ。神戸市立六甲で04年、岩本哲人教諭(60)と

## 西日本各地で確認



新種の可能性があるロクアイタンポポ。直径5センチほどの大きな花をつけるのが特徴(いずれも鈴木武研究員提供)



## 拡散？ 気付かれず生息？

生徒らが校舎のそばに自生しているのを発見した。

(兵庫県内分3356サンプル)を集めた。

花びら外側のがくに似た「総苞外片」が反り返る外来種の特徴が見られなかったため、岩本教諭と生徒らが研究を開始。部分的DNA解析などを経て、外来のセイヨウタンポポと在来のカンサイタンポポとの雑種である可能性が高いことを突き止めた。ただタンポポの専門家が少ない上、DNA解析には時間と資金もかかるため、新種かどうかの特定には至っていない。

鈴木研究員は「神戸から拡散した可能性もあるが、身近に生えながら、今まで気付かれていなかったのかもしれない。関心のある方は注意深く探してみたい」と話す。各種タンポポの県内調査データは、県立人と自然の博物館(三田市弥生が丘6)で4月24日まで展示されている。

一方、研究者や自然保護グループなどが協力し、14、15年の春、各種タンポポの分布を調べる大規模な調査を実施。西日本19府県の住民らが採取した計約7万サンプル

採取した計約7万サンプル